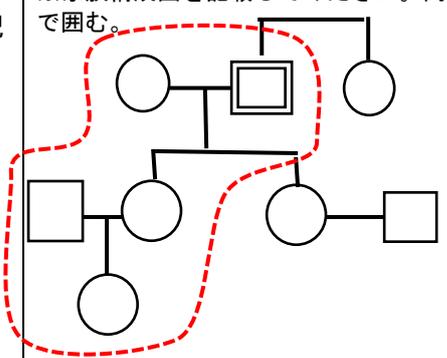


基本情報

利用者名	Aさん	性別	(男)・女	生年月日	明治・大正・(昭和)	28年(65歳)
住所	K市					
主訴	<p>〔相談経路〕平成30年8月7日胃がんにてA病院に入院。10日に胃全摘手術施行された。術後入院中8月27日に左脳梗塞を発症し、同病院脳外科にて血栓除去術が施行されたが、右片麻痺と軽度の構音障害が残った。9月20日在宅復帰を目的として回復期病院のD温泉病院へ転院。10月下旬には退院予定。介護度は要介護2。病院のMSWから居宅の依頼があり、10月16日病院にてアセスメントを実施。</p>					
	<p>〔本人・家族の要望〕 本人：入院中は、朝6時には起床し22時消灯。あれこれ考えて眠れない日もあって、睡眠導入剤を飲んでいる。食事は食べ過ぎると吐いてしまう事がある。体力も低下して、ふらついてうまく歩けない事もある。移動は車椅子を自分でこいでいる。元の体に戻れるか不安だけど1日も早く家に帰って好きなものを食べたい。もう、仲間と一緒に宴会をしたり、食事をしたりは出来ないですね。 妻：入院前はしょっぱいものや味の濃いものが好きだった。お酒も大好きだった。自宅に戻ると前のように戻ってしまうのではないかと心配です。胃がないので食事形態も不安です。入院前のようにお酒も飲むのか心配です。</p>					
生活歴・生活状況	<p>〔生活歴〕昭和28年にK市で生まれる。高校卒業後は水産加工会社に勤務して生計を立て、23歳で結婚、娘2人生まれる。生活は朝早く、5時に出勤し昼過ぎに帰宅。16時くらいから飲酒するという生活が胃がんを発症するまで続いた。休日は家族でドライブをしたり旅行することが好きだった。また、花が好きで、自宅の庭でも花壇の手入れなどを妻と一緒にしていた。長女は結婚し市内に在住。次女家族と同居しているが、次女夫婦は会社員で日中不在。妻はパートで仕事をしていたが、Aさんの入院を機に退職。胃がんは6月に妻の勧めで受けた健康診断で見つかり治療が開始となる。</p>					
	<p>〔趣味・特技〕ドライブや旅行が好き。お花を愛でたりすることが好き。</p>					
	<p>〔家族状況〕 ※家族構成図を記載してください。同居者は○で囲む。</p> 		続柄	年齢	同別居	健康状態
		次女	32	同居	良好	会社員
		次女の夫	38	同居	良好	会社員
		長女	35	別居	良好	会社員
		姉	68	別居	良好	会社員
		妻	59	同居	良好	なし
		孫	8	同居	良好	
健康管理	No.	病名	初診年月日	医療機関(病院、診療所) ※固有名称は伏せる	診療科	服薬情報
	1	胃がん(全摘出術8.10)	H30.8.7	B病院		アムロジピン5mg朝
	2	脳梗塞(血栓除去術)	H30.8.27	B病院	脳外科	1回、チクロピジン塩
	3	ラクナ梗塞	40代	C病院		酸塩錠1000mg朝
	4	高血圧	40~50	C病院		タ、ハルシオン0.2 5就寝時間
日常生活自立度	障害高齢者の日常生活自立度		A2	認知症高齢者の日常生活自立度		I
認定情報	要介護度2(平成30年8月10日~平成31年8月31日)			認定日	平成30年9月30日	
アセスメント理由	更新 ・ 区分変更 ・ その他(新規受付)					

利用者の 他法関係 情報	【医療保険の種類 国保】【年金の種類 厚生年金】【生活保護受給 有 無 】 【障害者関係手帳(身体、知的、精神) 等級等の程度】取得年月日 【難病認定】
現在利用 している サービス	通所リハ： 週2回 福祉用具貸与：特殊寝台・付属品 (フォーマル・インフォーマルを含めて)